

## 西日本インカレ男子1日目結果報告

広島大学体育会バレーボール部同窓生の皆様

(同窓会連絡フォームへ登録いただいた皆様及び同窓会やコートの仲間等でご連絡いただいた皆様へお送りしています。)

いつも大変お世話になっております。

広島大学体育会バレーボール部です。

本日から広島県において、西日本インカレ男子大会が開催されています。

広島大学男子の結果は、以下のとおりです。

予選1回戦 vs 甲南大学

●0-2 (18-25、20-25)

予選2回戦 vs 愛知教育大学

○2-0 (25-15、25-18)

(広大バレー部 Twitter)

<https://twitter.com/hirodaiVOLLEY>

男子監督の和泉です。

1日目のグループ戦の戦評と感想をお伝えします。

1試合目 vs 甲南大学

西日本インカレグループ戦の初戦は、関西の強豪校、甲南大学との試合でした。レフトに河津、保坂、センターに村上、佐々木、ライトに高橋、セッター松本、リベロ水谷というメンバーで臨みましたが、序盤から相手のサーブ&ブロックに苦戦し、中国リーグとは違う雰囲気にもまれて、ストレートで敗戦しました。

ライトの高橋は、普段のセンターとは違う点取り屋としての役割が求められるなか、ラリー中にタイミングよくスパイクに入っていくことができない場面がみられ、ラリー中の声掛けや意思疎通によって1本目・2本目との繋がりを深めていくことが課題として明確になりました。

また、両サイドの低い平行トスを相手の1枚ブロッカーにシャットされる場面が多く、逆にこちらは1対1で勝負できない状況が続いたことで、相手に対して勝負を仕掛けられるような心と身体の準備が必要であると認識させられました。

## 2 試合目 vs 愛知教育大学

負ければ敗退となるグループ戦の2戦目は、愛知教育大学との試合でした。1試合目と同じメンバーで臨みましたが、1試合目に出た課題を踏まえ、選手一人一人が意識高く行動した結果、ストレートで勝利することができました。

特に、センターの村上が的確な指示でブロックの的を絞り、思い切りの良いブロックでシャットを重ねて流れを引き寄せてくれました。さらにはクイックでも相手コートの奥を狙い、サーブカットからの攻撃を着実に点に結びつけるとともに、他の選手を引き連れてコート走り回って盛り上げてくれたことが、チーム全体として躍動感のあるプレーに繋がりました。

また、それを支えたのがリベロとして出場した水谷で、サーブカットはもちろんのこと、ブロックフォローをことごとくチャンスボールにして、次の攻撃を生み出していました。2セット目の終盤には、サーブカットが乱れたところを、レフトの保坂が相手ブロックに当て、リバウンドをとったところから、ライト高橋のバックアタックに繋げて得点する場面があり、春のリーグ戦でやろうとしていたことが、ここでできたということに、明日からの決勝トーナメントへの手応えを感じています。

### 【決勝トーナメント組合せ】

7月1日（金）広島県立総合体育館メインアリーナAコート第1試合（10時開始）

1回戦 vs 志学館大学

（勝利した場合：同Aコート第3試合）

2回戦 vs 愛知学院大学（第1シード）

（広島県立総合体育館アクセス）

<https://h-jigyoudan.or.jp/sports-center/center-overview/>

3年ぶりの西日本インカレは、3年ぶりの有観客の大会（体調チェックシートの提出が必要）となっています。本日は遠方から選手の保護者の方が応援に来てくださり、勝利の後はギャラリーに向けて整列し、感謝の気持ちを伝えることができました。バレーボールができる喜びを、なるべく多くの試合で表現できるよう、トーナメント戦を戦っていきます。

引き続き、応援よろしく申し上げます。